

令和4年度 事業報告書

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興・継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成・自主公演・一般国民への普及啓発活動を行う。

1 普及啓発吟詠発表会（普及啓発吟詠活動）

(1) 普及吟詠発表会

新型コロナウイルス感染症対策としてガイドラインを提示し、「普及吟詠発表会」の活動支援を自粛した。

2 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

(1) 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）

「少年少女吟詠大会」を以下のとおり開催した。

① 令和4年7月18日（月祝）長野 下條村コスモホール

(2) 尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

都道府県単位で開催を予定していた「尚歯会吟詠大会」は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

3 詩吟の指導者・継承者育成事業（師範位を認定する審査・研修事業）

(1) 準師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の資格審査申請に基づき、347名に認定書（許證）を交付した。

(2) 師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

北海道・東京（2回）・大阪の計4会場で、認可団体及び認承団体の推薦により全国から受審者を募集し、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、「師範審査会」を以下の会場で開催した。

資格審査合格者91名に認定証（許證）を交付した。

① 札幌会場：令和4年 8月17日（水）札幌市教育文化会館

② 東京会場：令和4年10月 8日（土）吟道会館

③ 大阪会場：令和4年11月17日（木）ホテルアウイーナ大阪

④ 東京会場：令和5年 2月 4日（土）吟道会館

(3) 正師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集し、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、「正師範審査会」を令和4年9月3日（土）吟道会館（東京）において開催した。

資格審査合格者42名に認定証（許證）を交付した。

(4) 上席師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集し、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、「上席師範審査会」を令和4年6月30日（木）木村岳風記念館（長野）において開催した。資格審査合格者17名に認定証（許證）を交付した。

4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本・教材シリーズの作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『普及版吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『吟詠教本 和歌篇

(上)(下)』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇(上)(下)』、『吟詠教材シリーズ1 俳諧歌撰』、『吟詠教材シリーズⅡ 御製歌・今様・俳諧紀行文・近現代詩・慶弔詩歌篇』、『新装新版愛吟集』等を作成し、希望者に頒布した。

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書、事業報告及び決算報告書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠に関すること、団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回発行して会員と関係団体及び国立国会図書館並びに希望者に配付した。

6 全国吟道講座・地区吟道講座・特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

(1) 全国吟道講座

「第67回夏季吟道大学講座」を令和4年7月23日(土)～24日(日)メルパルクホール東京(東京)において新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催した。全国から会員及び会員以外の詩吟愛好者509名が参加した。

(2) 地区吟道講座

①「地区吟道講座」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、全国9地区10会場で開催した。総本部講師と各地区の講師計3名により実施した。

- i 令和4年 9月25日(日) 北陸地区 アイザック小杉文化ホールラポール(富山)
- ii 令和4年10月 2日(日) 中部地区 津島市文化会館(愛知)
- iii 令和4年10月 9日(日) 北海道地区 とかちプラザレインボーホール(北海道)
- iv 令和4年11月13日(日) 北海道地区 道新ホール(北海道)
- v 令和4年11月20日(日) 東北地区 二本松市民会館(福島)
- vi 令和4年11月27日(日) 長野地区 茅野市民館マルチホール(長野)
- vii 令和4年11月27日(日) 中国四国地区 香南市夜須公民館(高知)
- viii 令和4年12月 4日(日) 近畿地区 クレオ大阪中央ホール(大阪)
- ix 令和5年 2月12日(日) 九州地区 アルカス SASEBO 中ホール(長崎)
- x 令和5年 2月19日(日) 神静地区 小田原市民ホール(神奈川)

②「地区吟道講座の講師研修会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和4年4月11日(月)～12日(火)吟道会館(東京)において開催した。

(3) 特別講座

①「俳諧歌ほか吟詠講座」は、事業計画どおり休止した。

②「日本詩吟学院公開講座」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、吟道会館(東京)において毎月開催した。

③優れた指導者の育成を目的とし、第四期院生を対象とした「吟道修学院」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、吟道会館(東京)において開催した。

(4) 木村岳風記念館吟詠講座

「俳諧歌ほか吟詠講座」は、事業計画どおり休止した。

7 中国移動教室・国内移動教室

(1) 中国移動教室

「中国移動教室」は、事業計画どおり休止した。

(2) 国内移動教室

「国内移動教室」は、事業計画どおり休止した。

8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、10地区10会場で開催し、「全国吟道大会」及び「全国優秀吟者吟道大会」の地区予選を行った。

- ① 令和4年4月17日(日) 北陸地区 高周波文化ホール(富山)
- ② 令和4年4月21日(木) 神静地区 小田原市民ホール(神奈川)
- ③ 令和4年4月29日(金祝) 長野地区 下條村コスモホール(長野)
- ④ 令和4年5月 1日(日) 中国四国地区 東広島芸術文化ホールくらら(広島)

- ⑤ 令和4年5月 8日(日) 東北地区 仙台市福祉プラザ(宮城)
- ⑥ 令和4年5月15日(日) 北海道地区 道新ホール(北海道)
- ⑦ 令和4年5月15日(日) 中部地区 津島市文化会館(愛知)
- ⑧ 令和4年5月15日(日) 近畿地区 高槻現代劇場文化ホール(大阪)
- ⑨ 令和4年5月15日(日) 九州地区 諫早文化会館(長崎)
- ⑩ 令和4年5月22日(日) 関東地区 メルパルクホール東京(東京)

(2) 地区師範吟詠大会

「地区師範吟詠大会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、2地区で開催、これを支援した。

- ① 令和4年5月22日(日) 神静地区 小田原市民ホール(神奈川)
- ② 令和5年2月12日(日) 関東地区 日本教育会館(東京)

9 全国吟道大会、全国優秀吟者吟道大会、全国認可団体代表吟道大会

(1) 全国吟道大会

① 全国吟道大会

「第132回全国吟道大会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和4年10月16日(日)仙台サンプラザホール(宮城)において開催した。全国より出吟者・入場者計927名が参加した。合吟競吟の最優秀チームには文部科学大臣賞が贈られた。

② 全国俳諧歌吟詠大会

「第8回全国俳諧歌吟詠大会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和4年7月2日(土)諏訪市文化センター(長野)において開催した。全国より出吟者・入場者計270名が参加した。競吟部門の入賞者には、木村岳風記念館館長賞・諏訪市長賞等多くの賞が贈られた。

③ 古典の日 吟詠鑑賞会

「古典の日 吟詠鑑賞会」は、事業計画どおり休止した。

④ 全国青年吟道大会

「第8回全国青年吟道大会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和4年8月27日(土)長野市若里市民文化ホール(長野)において開催した。16歳以上35歳以下の青年吟者・青年OB・入場者計113名が参加した。

(2) 全国優秀吟者吟道大会

「第28回全国優秀吟者吟道大会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和4年9月19日(月祝)浅草公会堂(東京)において開催し、独吟漢詩の部・和歌の部・連吟の部の競吟を行った。全国10地区から選出された吟者及び入場者計304名が参加した。各部門の入賞者には、祖宗範木村岳風賞他が贈られた。

(3) 全国認可団体代表吟道大会(全国特別維持会員吟道大会)

「第3回全国特別維持会員吟道大会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和5年3月12日(日)日経ホール(東京)において開催した。全国より吟者・入場者計260名が参加し、各部門の優秀者を表彰した。

10 木村岳風記念館・木村岳風墓所の一般公開

この法人の創設者(昭和11年日本詩吟学院創立)である祖宗範木村岳風の生家を保存、管理し、遺品を中心とした歴史資料を展示する木村岳風記念館及び木村岳風墓所を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、一般に公開した。

11 その他公益目的事業達成の為の事業

(1) 資格審査及び段伝位等の審査を行った。

(2) 定時社員総会

「第13回定時社員総会」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和4年6月18日(土)、吟道会館において開催した。令和3年度の事業報告の後、以下の事項について審議、可決承認された。

- ① 令和3年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びに財産目録承認の件
- ② 理事選任の件

- ③ 監事選任の件
- (2) 役員合同会議
「令和4年度役員合同会議」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和5年3月11日(土)吟道会館(東京)において開催し、令和5年度事業計画・収支予算について説明、質疑応答を行った。
- (3) 特別維持会員会議
「第8回特別維持会員会議(吟の総会)」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和5年3月11日(土)吟道会館(東京)において開催した。令和5年度事業計画・収支予算等を説明し、あわせて吟詠に関する講義を行った。
- (4) 認可団体等連絡会議
「令和4年度認可団体等連絡会議」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、以下のとおり全国10地区で開催した。
総本部役員と地区担当理事及び当該地区の団体代表者、事務担当者及び審査代行者等が参加し、意見交換を行った。
なお、本年度は「審査代行者研修会」を併催した。
- ① 令和4年7月12日(火) 九州地区 ホテルニュープラザ久留米(福岡)
 - ② 令和4年7月28日(木) 長野地区 木村岳風記念館(長野)
 - ③ 令和4年7月30日(土) 中部地区 甚目寺町町民会館(愛知)
 - ④ 令和4年8月2日(火) 東北地区 仙台市太白区文化センター展示ホール(宮城)
 - ⑤ 令和4年8月4日(木) 関東地区 吟道会館(東京)
 - ⑥ 令和4年8月9日(火) 北陸地区 高岡市生涯学習センター(富山)
 - ⑦ 令和4年8月18日(木) 北海道地区 北海道立道民活動センターかでの2・7(北海道)
 - ⑧ 令和4年8月23日(火) 近畿地区 ホテルアウィーナ大阪(大阪)
 - ⑨ 令和4年8月24日(水) 中国四国地区 西川アイプラザ(岡山)
 - ⑩ 令和4年8月31日(水) 神静地区 おだわら市民交流センターUMECO(神奈川)
- (5) 研修会
「参事・幹事研修会」は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。
- (6) 認可団体新設認可
認可団体設立の申請に基づき、おもしろ岳風会(令和4年10月1日付)を認可団体として認可した。
- (7) 認承団体新設認承
認承団体設立の申請に基づき、富山岳風会(令和4年4月1日付)、広島岳風会(令和4年4月1日付)、新居浜岳風会(令和4年4月1日付)を認承団体として認承した。
- (8) ホームページの活用
以下の目的を充実するため、ホームページにて情報を公開及び発信し、随時更新した。当該年度中の閲覧者数は45,303件。
- ① 広報活動と情報公開の一環として、学院の紹介及び活動状況の報告並びに大会等事業の募集案内等を掲載した。
 - ② 吟詠を学びたい不特定多数の者に対し、当学院の認可団体及び認承団体の教室を紹介した。
 - ③ 機関誌『吟道』の「巻頭詩」等、吟詠を視聴できるコーナーを掲載した。
- (9) 渉外活動
官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換及び文化団体との交流を図った。
- (10) 教本等に関する質問への回答
教本の内容等に関する疑義等は、原則、団体の指導者を中心に研究するものだが、不明な場合は団体代表者より質問を書面で受け付け回答した。
- (11) 公益目的事業を達成するため、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、定時社員総会ほか業務執行理事会・理事会並びに各委員会・各局・各部等の会議を110回開催した。
- (12) 吟道会館の運営
詩歌吟詠を受け継ぐ指導者の育成と吟道普及の拠点とし、また、吟詠関連の各種資料及び関係書類の整理・保管・管理を行うため、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、「吟道会館」を運営した。

「吟道会館」の維持・管理のため、寄付を団体及び会員並びに一般より受け付けた。

(13) 木村岳風記念館（吟道研修センター）・祖宗範木村岳風生家並びに墓所の維持・管理、木村岳風記念館・祖宗範木村岳風生家所蔵資料の管理を行った。

(14) その他

その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行った。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業 公益目的事業を支えるための補助事業

収益事業1 吟詠CD・DVD及び詩吟啓発物品の作成頒布事業

- 1 吟詠CDなど、各種教材等を作成し、希望者に頒布した。
- 2 詩吟の副教材として以下の頒布品を希望者に頒布した。
 - (1) 書 籍 『木村岳風』(通称「岳風伝」)、『詩歌作者事典』等。
 - (2) CD・DVD等 「吟聖木村岳風DVD」、「松井岳洋愛吟韻読抄」、「全国認可団体代表吟道大会ライブDVD」、「構成吟CD全5巻」、「現代名吟鑑賞会ライブDVD」、「全国青年吟道大会ライブDVD」等。
 - (3) そ の 他 和歌・俳句カード
- 3 そ の 他
学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、ネクタイ、扇子等を希望者に頒布した。

収益事業2 詩吟の技量審査による段伝位等の認定及び認定証(許証)を交付する事業

- 1 認定証(許証)発行
認可団体の資格審査申請に基づいて、昇級(少年少女)・昇段伝位及び師範位の資格審査が行われ、級段伝位(8,742名)、師範位(497名)の合格者に認定証(許証)を交付した。

Ⅲ その他の事業

その他の事業1 近代吟詠の祖 木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀（岳風忌）事業

1 岳風忌

「木村岳風先生71回忌法要及び宣子夫人57回忌法要並びに日本詩吟学院功労物故者会員合祀祭」を新型コロナウイルス感染症対策を講じて、令和4年7月1日（金）、長野県諏訪市地蔵寺において執り行い、祖宗範木村岳風先生ご夫妻の法要と功労物故者会員147柱の合祀を行った。参列は関係役員および遺族のみとした。

その他の事業2 詩吟関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

(1) 冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に、冠稱（宗帥11名・宗匠18名・宗佑58名）を贈った。

(2) 功労者表彰

吟道顕彰者（功労者の部83名・ボランティアの部16名・寿百歳の部10名・寿九十歳の部342名）の表彰を行った。

(3) 高校生表彰

小学校から高校まで継続して吟詠活動を行っている高校生会員39名を表彰した。

(4) その他

① 詩歌吟詠の普及向上等に多大に寄与した者に対し、顕彰・慶弔規程の定めるところにより顕彰した。

② 会員増強（純増）前年比一定以上を達成した4団体（陸中岳風会・茨城岳風会・神奈川高相岳風会・おもしろ岳風会）を表彰した。

2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行った。